

鉄筋コンクリート造建築物の各種不具合 事例と予防保全のためのシンポジウム

RC 建築物におけるひび割れなどの不具合は、材料・施工・環境的要因によることが多いが、設計上の工夫によって回避できるものも少なくない。このためには設計者および施工者間で情報を適切に共有することが重要である。本シンポジウムでは建築物の不具合の事例集を提示し、不具合を回避するための技術的な相互理解を図る機会としたい。

主催 日本建築学会関東支部材料施工専門研究委員会
日時 2014年2月21日(金) 14:00~17:00
会場 日本大学理工学部(東京都千代田区神田駿河台1-8-14)
参加費 会員2,000円、会員外3,000円、学生600円

司会：竹下永造(太平洋マテリアル)
14:00-14:05：開会挨拶 永井香織(日本大学)
14:05-14:10：主旨説明 加藤 淳司(飛島建設)

主題解説

14:10-14:30：建築物の維持保全の体系 林 邦彦(URコミュニティ)
14:30-14:50：主として材料的要因による劣化事例 金子 樹(長谷工コーポレーション)
14:50-15:10：主として設計要因による劣化事例 斎藤 博(斎藤建築研究所)
15:30-15:50：主として施工的要因による劣化事例 古川 雄太(東急建設)
15:50-16:10：主として環境および維持管理的要因による劣化事例 加藤 淳司(飛島建設)

司会：大塚 秀三(ものづくり大学)
16:20-17:00：パネルディスカッション：劣化事象に対する理解と予防保全に向けた設計者、施工者の相互理解
パネラー：深井悟(日建設計)、坪倉篤(長谷工コミュニティ)および上記主題解説者
まとめ：中田 善久(日本大学)

申込はこちらから⇒ <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=677>